

### 平成27年度 特別会計予算

#### ◆国民健康保険

##### 《賛成総員で原案可決》

生活習慣病重症化予防対策事業費の内容は。

**A** 県のモデル事業で19の市・町が参加。26年度は、患者の抽出を医師会などの支援を受け進めている。27年度は、糖尿病が重症化する可能性の高い方を対象に、生活習慣改善支援プログラムに沿い、個別面談や電話で、6カ月かけて生活習慣の見直しを行う。

#### ◆介護保険

##### 《賛成多数(16名)で原案可決》

介護予防事業の内容は。

**A** 地域包括支援センターに委託し実施する出前講座や高齢者の集いの場づくりなどの介護予防普及啓発事業、通所型介護予防事業のちやきちやき倶楽部など。

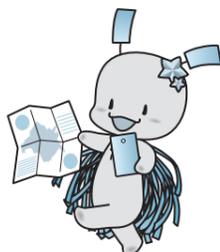
**Q** 特別養護老人ホームを200床増床する理由は。

が30%となった経緯は。

**A** 当初20%を想定していたが、より消費喚起効果を向上させるため、県からプレミアム分の10%を上乗せすると提案があり、市もそれを受け入れ、近隣市などの状況も勘案して30%のプレミアムとした。

**Q** 観光ARマップの目的と活用予定は。

**A** 狭山市の観光資源を市内大学、ボランティア団体などと連携して調査、AR技術(※)を活用した観光ガイドマップを作成し、市の魅力を発信することを目的としている。将来的には、東京オリンピックの開催を踏まえ、市外や外国人来訪者への、観光スポットや商店、飲食店情報の発信に活用したい。



※ARは拡張現実の略で、人が知覚する現実環境をコンピュータを使って拡張する技術

**A** 市内の特別養護老人ホームの入居待機者数は498人おり、このうち制度改正で入所の対象となる要介護3以上の方は307人いる。このように、施設入所のニーズが存在する中で、引き続き施設サービスの基盤整備を図るため増床するもの。反対討論 無所属 高橋ブラクソン久美子

#### 主な議案審議

◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例

子ども・子育て支援法の施行に伴い新たに保育料を定めるもの

《賛成多数(16名)で原案可決》  
**Q** 条例施行で生じる保護者への影響と市の負担は。



**A** 保育料の増額が約500人で約26%、同額が約250人で約13%、減額が約1150人で約61%、市の負担は、月額約600万円の増額を見込んでいる。反対討論 無所属 高橋ブラクソン久美子

◆保育所条例の一部改正  
時間外保育事業などの規定を定めるもの

《賛成総員で原案可決》  
**Q** 時間外保育事業を利用している保護者の変更点は。

**A** 保育短時間認定を受けただ場合は、緊急的・臨時的に急きよ8時間を超える保育の利用に、時間外保育料が発生する。

◆児童館条例の一部改正  
中央児童館の所在地を変更するもの

《賛成総員で原案可決》  
**Q** 中央児童館、プラネタリウムなどの施設展開は。  
**A** 科学館は耐震性に問題

#### 委員会提出議案

◆市議会委員会条例の一部改正

都市整備部の廃止に伴う委員会所管事務の変更など

提出委員会運営委員会  
《賛成総員で原案可決》

#### 議員提出議案

◆ウィルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書(6歳以下参照)  
提出議員 齋藤 誠  
《賛成総員で原案可決》

#### その他の議案

◆人事 ◆固定資産評価審査委員会の選任(須田芳昭氏、清水七都子氏) 条例 ◆制定 教育委員会教育長の勤務時間、休日及び休暇並びに職務に専念する義務の特例に関する条例、災害派遣手当等の支給に関する条例 ◆一部改正 特別職報酬等審議会条例等、博物館条例、青少年問題協議会設置条例、介護保険条例、建築基準法等関係事務手数料条例、市営住宅条例 26年度補正予算 ◆特別会計 狭山市駅東口土地

地区画整理事業、介護保険、後期高齢者医療 27年度予算 ◆特別会計 狭山市駅東口土地地区画整理事業、後期高齢者医療 ◆事業会計 水道、下水道

#### 請願

◆年金引き下げの取りやめを求める意見書を国に提出する請願 請願者 1団体

《不採択に賛成多数(16名)で不採択》  
請願への賛成討論 日本共産党 猪股 嘉直

◆介護保険料国庫負担国調整交付金の交付を求める請願 請願者 1団体

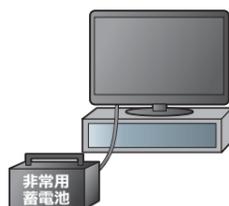
《趣旨採択に賛成多数(16名)で趣旨採択》  
請願への賛成討論 無所属 大島 政教

### ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書(要旨)

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。よって国においては、下記事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること



がなく使用を継続するが、本館は耐震性が確保されていないため、旧ユースプラザを中央児童館とするもの。今後、中央児童館のあり方については、公共施設の適正な管理運営に係る計画の中で、検討を加えるべきと考える。

用していくのか。  
**A** 非常用蓄電池を購入し、災害時に保護者との連絡調整や事務所機能を保持し、子どもの安全確保のために準備するものである。

◆26年度一般会計補正予算  
《賛成総員で原案可決》  
**Q** 地域先行型の基金を使い公立保育所、青い実学園、幼稚園、学童保育室に蓄電池などを購入しようだが、どのようなものを購入し活

**Q** プレミアム付商品券について、国は10%から20%の上乗せを示す中、狭山市

## 討論 ◆平成27年度 一般会計予算

議案に賛成・反対します



#### 賛成討論(要旨)

第3次総合振興計画後期基本計画の総仕上げの年として、計画に位置づけた重点施策を中心に、目標の達成に全力で取り組むとした積極的な予算編成で、高く評価できる。  
▶住宅用省エネルギーシステムを補助対象としたことや事業費を2倍に増加したこと ▶小規模保育室が認可保育室となり、待機児童の解消にもつながる ▶糖尿病予防プログラムや健康づくり活動は、取り組みやすく健康増進の観点からも心強い ▶狭山工業団地の隣接地区の基盤整備は、税収の増加や雇用機会の拡大といった効果が期待できる ▶気象情報配信サービスの導入は、正確な情報発信が可能となり有効と考えられる

#### 反対討論(要旨)

消費増税や物価高で市民の暮らしが厳しくなっている。豊かな基金を活用して、市民の暮らしを守る施策の充実を求める。  
▶今後の保育や介護施設の充実を考え、土地の売り払いは慎重にすべき ▶市職員の中には勤続22年にもなる臨時職員がいる。常勤対応の臨時職員は正規雇用を ▶「茶の花号」の運行ダイヤが見直されて4年が経つが、市民の声を聞いて抜本的な見直しを ▶県の施策により65歳以上で新規に障害者手帳を取得した者が心身障害者医療費助成の対象外となる。市として単独事業での実施を ▶保育所・学童保育で待機児童がでている。引き続き拡充と早朝などの時間延長を